

# 株式会社フィスコ 事業のご報告

## 第18期（自平成23年1月1日 至平成23年12月31日）



株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第18期事業年度（自平成23年1月1日 至平成23年12月31日）が終了いたしましたので、同期における当社の事業概況についてご報告申し上げます。

また、平成24年3月28日には第18回定時株主総会を開催し、招集ご通知にてご案内のとおり、報告及び決議を下記のように行いました。

### 報告事項

「第18期（自平成23年1月1日 至平成23年12月31日）事業報告、計算書類及び連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件」

### 決議事項

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 第1号議案『定款一部変更の件』  | 原案どおり承認可決されました。 |
| 第2号議案『取締役5名選任の件』 | 原案どおり承認可決されました。 |
| 第3号議案『監査役1名選任の件』 | 原案どおり承認可決されました。 |

第19期も、皆様のご期待にそえるよう、事業成長・企業価値向上に全力を傾注して努める所存でございます。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社フィスコ 代表取締役社長 狩野 仁志

## 【第18期事業ハイライト】（連結）

- 売上高 1,125百万円（前期比244百万円の増加）
- 営業利益 5百万円（前期比50百万円の改善）
- 経常利益 10百万円（前期比40百万円の改善）
- 当期純利益 139百万円（前期比124百万円の増加）

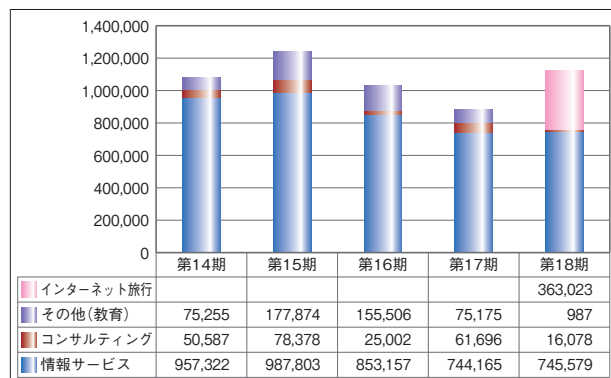
詳細は、次ページ以降の連結財務諸表（要約）をご参照ください。

### <当期の主な取組み>

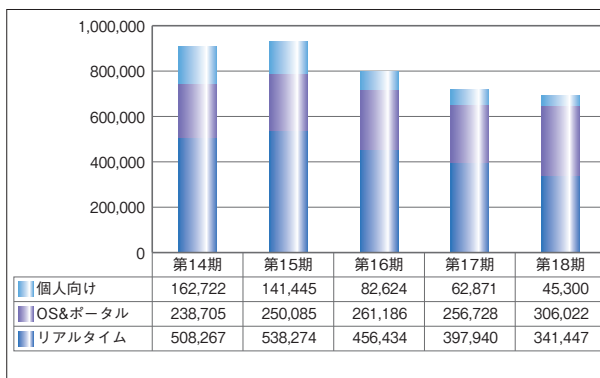
- ◆連結子会社(株)フィスコ・キャピタルによるイー・旅ネット・ドット・コム(株)の株式取得により、同社及び(株)ウェブトラベル、(株)世界一周堂、リストン(株)を連結の範囲に含め、インターネット旅行事業を新設いたしました。
- ◆持分法適用会社リサーチアンドプライシングテクノロジー(株)と(株)エヌ・エヌ・エーの株式譲渡により経営資源の効率的な配分を実施いたしました。
- ◆オペレーションの最適化によるコスト構造の改善に取り組み、販売費及び一般管理費の削減を実施しました。
- ◆ファンド関連事業や金融コンサルティング事業としての多様なファイナンスへの取組等新たな金融ソリューションの提供するため、子会社2社を設立いたしました。

### 【セグメント別事業の推移】

（単位：千円）



### 【情報サービス事業における主要3サービスの推移】（単位：千円）



## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表（要約）

当期におきましては、平成23年9月に連結子会社(株)フィスコ・キャピタルがイー・旅ネット・ドットコム(株)の株式を取得し、同社及びその子会社3社（以下「イー・旅ネットグループ」といいます。）を連結の範囲に含めております。その結果、当期末の資産合計は1,879百万円となり、前期末と比較して、385百万円の増加となりました。連結貸借対照表における主な変動要因を、以下にご説明いたします。

（単位：百万円）

資産の部 主な変動要因
①無形固定資産 +259百万円 ・イー・旅ネットグループの連結に伴う、のれんの計上等に伴う増加
②投資その他の資産 +119百万円 ・投資有価証券及び差入保証金の増加

負債の部 主な変動要因
○流動負債 +205百万円 ・イー・旅ネットグループの旅行代金の前受金の計上等による増加

純資産の部 主な変動要因
○純資産 +144百万円 ・当期純利益の計上 ・新株予約権の計上

	前期末 平成22年12月	当期末 平成23年12月	増減
(資産の部)			
流動資産	1,201	1,227	26
固定資産	288	650	361
有形固定資産	40	23	△17
無形固定資産	33	293	259
投資その他の資産	214	333	119
<b>資産合計</b>	<b>1,493</b>	<b>1,879</b>	<b>385</b>
(負債の部)			
流動負債	81	286	205
固定負債	65	101	36
(純資産の部)			
純資産	1,347	1,491	144
<b>負債・純資産合計</b>	<b>1,493</b>	<b>1,879</b>	<b>385</b>

### 連結株主資本等変動計算書（自平成23年1月1日 至平成23年12月31日）（単位：百万円）

	株主資本					その他の包括利益累計額			新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
平成22年12月31日残高	1,195	850	△627	△43	1,375	△0	△27	△27	-	-	1,347
当期変動額											
持分法の適用範囲の変動			△1		△1						△1
当期純利益			139		139						139
自己株式の取得				△93	△93						△93
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					-	0	12	13	10	74	99
当期変動額合計	-	-	137	△93	44	0	12	13	10	74	144
平成23年12月31日残高	1,195	850	△489	△136	1,420	0	△14	△14	10	74	1,491

## 連結損益計算書（要約）

当期の売上高は1,125百万円となりました。前期と比較して、244百万円（27.8%）増加しております。主な増加要因は、イー・旅ネットグループの連結に伴い、新設したインターネット旅行事業において、363百万円の売上を計上したことによるものです。一方、減少要因としては、コンサルティング事業が前期と比較して45百万円減少したこと及び不採算事業からの撤退を目的に子会社を売却したことなどによる影響です。一方、利益面においては、イー・旅ネットグループの連結に伴い、売上原価が増加したものの、販売費及び一般管理費の削減に努めた結果、営業利益は5百万円（前期比50百万円の改善）、経常利益は10百万円（同40百万円の改善）となりました。さらに、組合持分譲渡益や投資有価証券売却益等の特別利益を176百万円計上した一方で、本社移転費用等の特別損失38百万円を計上した結果、当期純利益は139百万円（同124百万円の増加）となりました。連結損益計算書における主な変動要因を、以下にご説明いたします。

（単位：百万円）

	前期 (自平成22年1月1日 至平成22年12月31日)	当期 (自平成23年1月1日 至平成23年12月31日)	増減
<b>売上高 244百万円（前期比）</b>			
①情報サービス事業 +1百万円			
・法人向リアルタイムサービス △56百万円			
・法人向アウトソーシングサービス +45百万円			
・ポータルサービス +3百万円			
・個人投資家向サービス (クラブフィスコ、LaQoo+) △18百万円			
②コンサルティング事業 △45百万円			
③インターネット旅行事業 +363百万円			
④その他（教育） △74百万円			
<b>売上原価 +201百万円（前期比）</b>			
・イー・旅ネットグループを連結に含めたことによる増加			
<b>販売費及び一般管理費 △8百万円（前期比）</b>			
・人件費の抑制及びシステム関連費の削減等による減少			
今後コストの抑制を継続し、効率のよい企業体質を維持していく方針です。			
<b>特別利益 176百万円（当期計上額）</b>			
主な特別利益は以下のとおりです。			
・投資有価証券売却益* 69百万円			
・組合持分譲渡益* 68百万円			
・関係会社株式売却益 19百万円			
*当該特別利益につきましては、コンサルティング事業の成果であり、今後も引き続き同事業の発展に努めてまいります。			
<b>特別損失 38百万円（当期計上額）</b>			
主な特別損失は以下のとおりです。			
・本社移転費用 22百万円			
・資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 11百万円			
売上高	881	1,125	244
売上原価	310	512	201
売上総利益	570	613	42
販売費及び一般管理費	615	607	△8
営業利益	△45	5	50
営業外収益	22	20	△2
営業外費用	7	15	8
経常利益	△29	10	40
特別利益	63	176	112
特別損失	18	38	20
税金等調整前当期純利益	15	148	133
少数株主損益調整前当期純利益	—	146	—
少数株主利益	—	7	—
当期純利益	14	139	124

### 利益配分について

当社は、株主に対する利益還元につきましては重要な経営課題と認識しており、安定的な株主還元を実施していく方針であります。

平成23年12月期は当期純利益を計上しているものの、財務体質の強化を優先し、今後の事業展開に備えて配当を見送らせていただきましたが、収益基盤の再構築を図り、早期に復配を実現できるよう尽力してまいります。

## 連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

	前期 (自平成22年1月1日 至平成22年12月31日)	当期 (自平成23年1月1日 至平成23年12月31日)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	4	7	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28	5	33
財務活動によるキャッシュ・フロー	826	△130	△956
現金及び現金同等物の期末残高	1,064	926	△137

## 【会社概要】 平成23年12月31日現在

商号 株式会社フィスコ  
本店 東京都港区南青山五丁目4番30号  
CoSTUME NATIONAL  
Aoyama Complex 2階  
代表者 代表取締役社長 狩野 仁志  
設立年月日 平成7年5月15日  
資本金 1,195百万円  
決算期 12月

## 【役員】 平成24年3月28日現在

代表取締役社長 狩野 仁志  
取締役 伊藤 正雄  
取締役 中村 孝也  
取締役 長岡 信一郎  
取締役(社外) 後藤 克彦  
常勤監査役(社外) 松崎 祐之  
監査役(社外) 中道 賢一  
監査役 田野 好彦

## 【株主メモ】

事業年度	1月1日～12月31日
期末配当金受領株主確定日	12月31日
中間配当金受領株主確定日	6月30日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	大阪証券取引所 JASDAQ
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.fisco.co.jp/notification/index.html">http://www.fisco.co.jp/notification/index.html</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 【株式の状況】 平成23年12月31日現在

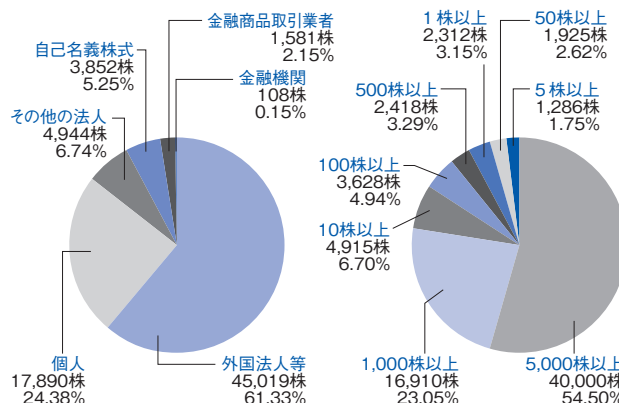
発行可能株式総数 200,000株  
発行済株式の総数 69,542株(自己株式3,852株除く)  
株主総数 1,950名

大株主(上位10名)	所有株式数(株)	持株比率(%)
シークエッジ インベストメント インターナショナル リミテッド	40,000	57.52
バンク オブ イースト エイジア ノミニーズ リミテッド	3,100	4.46
三木 茂	2,499	3.59
株式会社 サンジ インターナショナル	1,876	2.70
楽天証券株式会社	1,244	1.79
朝田 英太郎	1,239	1.78
トムソン ロイター (マーケッツ) エス エイ	1,100	1.58
株式会社 ASA GLOBAL	1,000	1.44
株式会社 ケーエスピーホールディングス	1,000	1.44
CHRISTIN CAPITAL CORP.	640	0.92

- (注) 1. 持株比率は自己株式(3,852株)を控除して計算しております。  
2. 持株比率は、小数点第2位未満を四捨五入しております。

## 【株主メモ】

## 【株式分布状況】 平成23年12月31日現在



## IRサイトのご紹介

当社は、金融商品取引法及び証券取引所の定める「適時開示規則」に則り、全ての株主・投資家の皆様に対し、迅速で公平、かつ正確な情報開示に努めております。

☑ IRインフォメーション ☑ IRスケジュール

☑ 業績ハイライト ☑ IR資料室

☑ 株価情報 ☑ 電子公告

☑ 株式の概要 ☑ IRお問い合わせ

☑ 株主構成 <http://www.fisco.co.jp/>

フィスコ

検索

